

AM-503 コンプレッサーマイクロホン

コンデンサーマイク+コンプレッサーアンプ+音質切換スイッチ

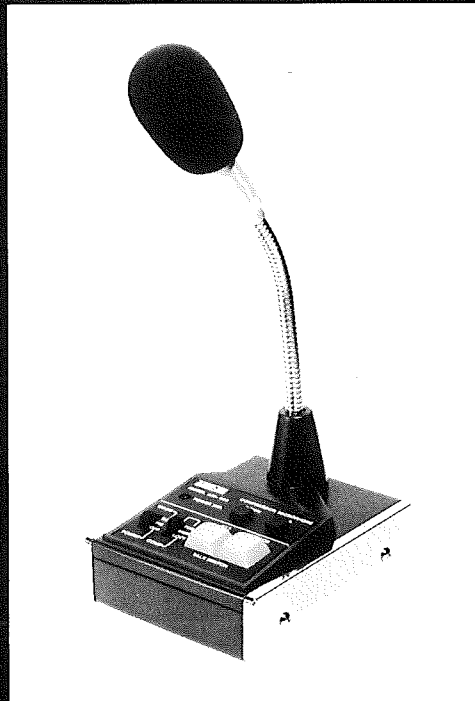
AM-503は、HF、
VHF、UHFいずれの
送信機にも使用出来、
歪のない音で、
常に最適な変調度を
保つための必需品です。

アップダウンスイッチ付

マイクコネクター付

(トリオ4P, 6P, ヤエス4P, 8P)
アイコム4P, 8P

定価 ¥10,600



AM-503仕様

- コンデンサーマイクロホン
.....IC内蔵広帯域型
- トランジスター.....4石 (ICOM用5石)
- ダイオード.....2石
- 出力電圧.....0~30mV (RMS)
(ICOM用900mV)
- 出力インピーダンス
.....600Ω~100KΩ
- コンプレッサーレベル
高 (High) : 45db }
中 (MED) : 30db } 3段切換
低 (LOW) : 10db }
- 電源.....単Ⅲ×2
- 消費電流.....2mA
- 外形寸法
.....85 (W) × 115 (D) × 40 (H) mm
- 重量.....400g

★特 徴★

●高性能コンプレッサーアンプ内蔵

ささやくような声も、破れるような声も、常に一定のレベルで送信出来ます。FMで最適変調度を、SSBで最高のパワーでQSOを約束します。更にコンプレッサーレベルは外部スイッチにより3段 (HIGH, MED, LOW) に切り換えられます。

●FM/SSB音質切換スイッチ付加

SSB時にはメリハリのきいた了解度のよい音声に、FM時にはスッキリしたソフトな巾のある豊かな音声で運用できるように、スイッチの操作で使い分けができます。

●アップダウンスイッチ付

軽快なクリックタッチでコントロールができます。

●高感度コンデンサーマイク・フレキシブルパイプ使用

マイクは高感度、コンデンサーマイクを採用、スタンドパイプは特別設計のフレキシブルパイプ(8φ)を採用していますので、使用感がFBです。

特約店

ADONIS アドニス電機

本 社 〒573-01 大阪府枚方市春日北町1丁目12-8
TEL (0720) 59-2211 (代表)
東京営業所 〒168 東京都杉並区和泉2-17-41
(プラムハイツ内)
TEL (03) 323-2235

AM-503取扱説明書

このたびはアドニス電機のコンプレッサーマイクロホンAM-503をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

AM-503は高性能コンプレッサーアンプが内蔵されたハム用マイクロホンです。ご使用に際してはリグ説明書とともに、この説明書をよくお読みになって性能を十分発揮していただくと共に、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

●各部の説明

①電源スイッチ及びFM/SSB音質切換スイッチ

電源スイッチ①をONにしますと、FMで運用するのに最適な音質になるように、周波数特性をスッキリした巾のある音声になるようにしてあります。

またSSBで運用するときには、SSB側にセットしてください。この場合の周波数特性は、メリハリのきいたシャキッとした音になります。特にDX時においてその効果を発揮します。

②コンプレッサーレベルスイッチ

●HIGH (45db) 小さな声で話したい時、バックが静かな時とか、またマイクから離れた時などに使用してください。(この時は、TVの音声、ファンモーター、時計の音、その他のバックノイズも同時に入ることはご了承ください。)

●MEDIUM (30db) 普通のQSOに最適です。マイクから10cmぐらい離れていても十分な音量でQSOが可能です。

●LOW (10db) コンプレッションレベルは10dbぐらいでほとんどコンプレッションはきいておらずスルーと同程度ですが大入力が入った場合のみコンプレッションがかかりスプラッターの原因を防止します。

③PTTスイッチ

ショートQSOのときに使用します。ボタンを押すと送信になり、はなすと、受信になります。

④LOCKスイッチ

ロングQSOのときに使用します。送信時はメカロックになり、受信したい時は再び押してください。

⑤電源表示ランプ

電源スイッチをONにすれば点灯します。

⑥DOWNスイッチ

ボタンを押すと周波数がDOWNします。

⑦UPスイッチ

ボタンを押すと周波数がUPします。

⑧コンデンサーマイクロホン

⑨電池フタ

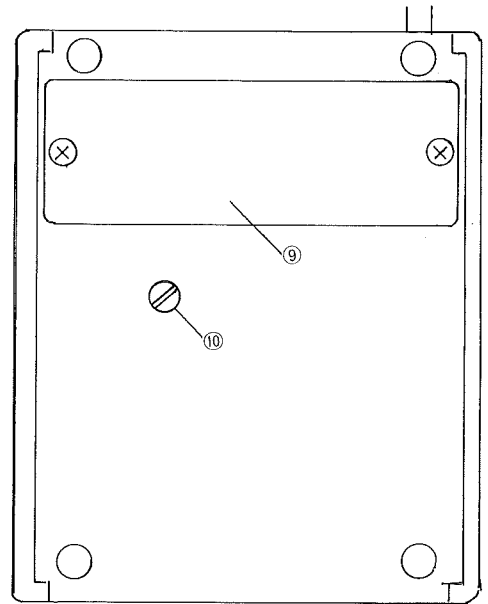
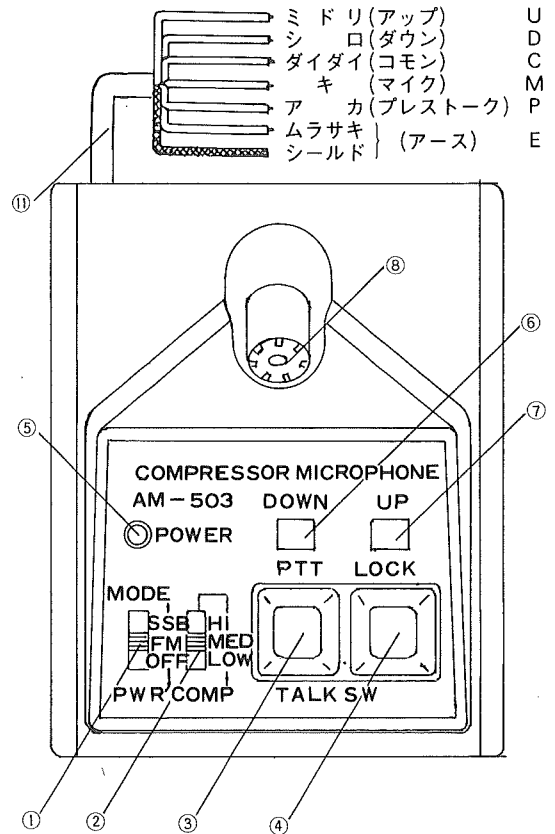
裏面のビス2本をはずし、単Ⅲを2本挿入してください。

⑩出力調整ボリューム

出荷時には出力電圧は10mV (ICOM用300mV) RMSに調整してありますが、ご使用のリグによって調整する場合を考え裏面に出力調整用半固定ボリュームの穴があけてありますので、3%巾のドライバーで注意深くゆっくりと廻してください。

⑪出力コード

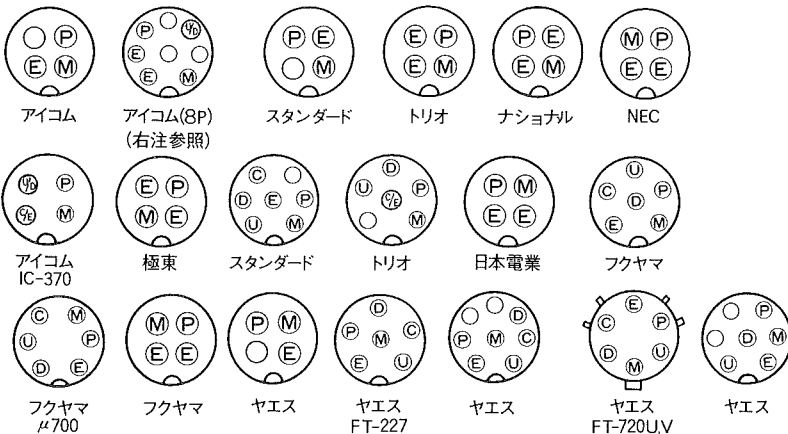
コードには各メーカーの無線機用にコネクタが取り付けられていますが、他の無線機に御使用のときは下図を参考にしてコネクタの配線を変更するか、又はその無線機に合ったコネクタと取換えて御使用下さい。



コンプレッサーとは、音声出力レベルの変化に関係なく出力レベルが一定で、さらにひずみのない装置をいいます。すなわち、入力の大きさによってボリュームコントロールを電氣的に行っているわけですが、一般にコンプレッサーはスプラッターの原因になると言われていますが、うまく設計しておけば逆にスプラッターをなくすことができます。人の音声のダイナミックレンジは実に100db以上あり、マイクの前で大声をはりあげますとコンプレッションのない場合の方がスプラッターをだす恐れが多分にあります。したがってリグとマイクロホンの間には、コンプレッサーアンプの使用が常識となってきています。

注) AM-303, AM-503 (ICOM) 以外のマイクで ICOM 製リグを御使用の場合は、マイクゲインが不足し、使用不可能ですので、その時は、当社マイクアンプ (利得30db) AP-1 (¥2,200) を御使用ください。

●マイクコネクタ接続図 (コード側から見た図)



●その他

- 受信時はほとんど電池を消費(2mA)しませんが、QSO終了時は電源スイッチをOFFにしておいてください。
- 長時間(約3ヶ月以上)QSOしない時は、本機から電池を取出しておいた方が賢明です。